

(学年) 2年次、(教科・科目) 数学・数学A

一斉学習

(単元) 三角形の外心・内心・重心

(本時のねらい)

三角形の性質について振り返り、必要に応じてそれらの性質を利用して問題を解決することができる。

(ICT活用方法)

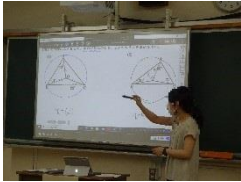
授業の始めに、三角形の外心・内心・重心の特徴を電子黒板に投影し、復習する。授業の内容は授業支援クラウドアプリに残すことで、生徒はいつでも学習の振り返りの機会を得ることができる。

(本時の展開)

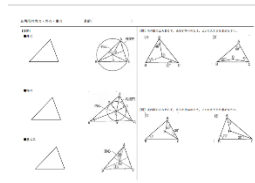
時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習した三角形の性質を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の外心・内心・重心の性質について復習する。 用語や性質を確認し、生徒に適宜説明させることでそれぞれの性質の違いを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回学習した内容を電子黒板に映す。
展開 25分	<p>3つの大学A、B、Cでは、共同で研究センターを3つの大学から等距離の地点に建てることにした。研究センターを建てる地点を求めなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題で与えられている情報を整理し、図に書き込む。 問題で問われているものは何かを確認し問題に取り掛かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた情報は必ず図に書き込み、自分が分かりやすいように図を整理していくよう指導する。 どのように問題に取り掛かれればよいかわからない生徒がいる場合は、三角形の外心・内心・重心のいずれの性質を用いるのが適切かを考えるよう助言する。 外心・内心・重心の性質と、問題の図を並べて電子黒板に出し、より具体的なヒントを出す。 答え合わせの際は、どのよ 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を電子黒板に映す。 問題から分かることを図形に書き込む。

		うに考えたかを自分の言葉で説明させる。	
まとめ 5分	・本時のまとめを行う。	・本日の学習内容を確認する。	

(授業の様子)



板書とICT



使用したワークシート

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

授業で扱う図形を電子黒板に映すことで、教員が図形を描く時間がカットされ、その分生徒が思考する時間に充てることができた。

生徒自身が一人一台端末を使い授業に参加する方法について、これから改善していきたい。